

# 校長室の窓辺より

都留市大野396 電話 0554(43)2336 校長 深澤 秀興

## 無事、1学期終了

猛暑・酷暑の日々が続いています。皆様いかがお過ごしでしょうか。

西日本各地では、豪雨により、数多くの尊い命が失われてしまいました。心から、お悔やみを申し上げます。

さて、4月6日（金）の入学式を実質のスタートとした1学期も、今週末20日（金）をもって、無事終えることができそうです。72日間に及ぶ1学期でした。

この間、保護者の皆様方には、翌日の学習の準備に始まり、諸行事への御協力等々、本校教育活動へ御理解を賜ると共に、数多くのお力添えを頂きまして、誠に有り難うございました。また、地域の方々にも、本校の教育活動に対して関心を寄せていただき、子どもたちの見守りをはじめとして多くの御協力をいたたきまして、本当に有り難うございました。

子どもたちは、週明けの7月23日（月）から8月22日（水）まで、31日間の夏休みに入ります。また、この間、子どもたちの生活の場は、学校から「とまとクラブ」をはじめとする地域へと移ることになります。友達の家に遊びに行くために一人で道を歩く子どもの姿、坂道を自転車で駆け下りる子どもの姿、場合によっては涼しさに吸い寄せられて水辺で遊ぶ子どもの姿を御覧になる場面もあるかもしれません。

子どもたちの夏休みが、楽しくも充実したものとなりますよう、保護者の皆様はもとより、地域の皆様方にも引き続き子どもたちに関心をお寄せいただき、安全・安心確保のため、見守りをよろしくお願ひします。

さて、このようなお願ひを申し上げた中、はなはだ恐縮ですが、市教委の御指導により、下記の間、市内全ての小中学校は、今年度から学校閉庁日（日直等の勤務者がいない）となります。急用の折は、保護者は担任に、地域の方は市教委（0554-43-1111）に御連絡下さい。

期間：8月13日（月）～8月16日（木）

## 人を評価することの難しさ

今学期も、1学期の学習の成果と学校生活の様子をお伝えし、来学期以降の成長の糧にしてもらおうべく、通知表（本校では『あゆみ』）を、終業式の日にお渡しします。

学校ではこれに向け、通知表の目的を達成するには、どのような内容・項目にしたらいいか等を、数ヶ月前から検討し、学期末に備えてきました。

表紙を含め、A四判4ページ内で、幼子といえども一人の人物を評価するにはどうしたらよいか。児童・保護者に、指導する側の意図をお分かり頂くにはどのようにしたらよいか、検討を重ね、内容・項目を決めました。なかでも難しかったのは、『生活の様子』の評価項目です。学校生活のどこを切り取って、評価するか。当然、『あゆみ』の評価は、個々の子どもの人格の、一部の評価に過ぎません。担任は、一人ひとりの児童の“よさ”を分かっています。評価項目以外であれば通知表に示すことはできず、保護者にお伝えすることもできません。また、一つの項目においても、ある場面では「よい」でも、別の場面では「努力しよう」となる場面もある。むしろ人の行いとはこのようなケースが多いと思うのですが……。さて、どう評価するか。また、こんな事も考えます。2学期、3学期の成長を期待すると、1学期は厳しめに評価するか、と。しかし、あまりに厳しすぎると、児童や保護者から「先生は、僕のことを理解してくれていない」と誤解を受けないかと。

情報は、相手に正確に受け取っていただけて、はじめて効力を発揮するもの。担任の思いだけでは、十分ではありません。もう少し説明して欲しいということがありましたら、どうぞ遠慮無く、担任までお問い合わせ下さい。

## 福祉講話を聞く会

「やさしい子」の育成を学校教育目標の一つに掲げる本校では、7月12日（木）に、視覚障がいのある菊島たくみさん（東桂在住）をお招きして、福祉講話を聞く会を開催しました。

会では、盲導犬のドビーをお連れになった菊島先生から「命、そして思いやりの心、何事も継続することを大切にしてほしい」というお話をいただきました。

これを受け、子どもたちからは「菊島さんの『継続は力なり』と『あきらめない気持ち』という言葉が心にさきました」といった感想が、寄せられました。

